

# あーがー



## 和東保育園で保育士体験

新しいプールで保育士の体験をする

池田柚菜さん（和中2年 右端）

### 第2回定例会

決まったこと 補正予算 >>> P.2

主な質疑・条例改正等 >>> P.3

一般質問 6人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 養蜂 鍵谷 福成さん(白栖) >>> P.14

# 補正 予算

## 活性化対策費や、石寺 景観前駐車場整備事業 などの予算を追加

第2回定例会を6月15日から22日に開  
会し、町長提出の令和5年度補正予算、  
令和4年度補正予算（専決）、条例改正  
や同意案件などを審議し、すべて原案  
のとおり同意・可決しました。

### 追悼の言葉

令和5年6月29日、堀忠雄和東町長がご逝去されました。

和東町議会を代表し衷心より深く哀悼の意を表します。  
故堀忠雄町長は、平成13年に第7代和東町長に就任さ  
れて以来、財政再建や基幹産業である茶業の振興、茶畑  
景観を活かした観光振興や広域行政の推進などに尽力さ  
れました。和東町の代名詞となっている「茶源郷 和東」  
は本町の第3次総合計画に堀町長の発案で盛り込まれた  
言葉です。

一方、本町にも押し寄せる少子高齢化の波、コロナ禍  
での経済対策など難しい舵取りを常に迫られていた  
が、都市では決して感じえない農村空間の良さ、素晴ら  
しさ、住民の温かさ、情熱を活力にして、山積する課題  
に取り組んでこられました。

来年度には住民の長年の願いであった（仮称）犬打峠  
トンネルの開通や総合保健福祉施設の完成が間近に控え  
ていただけに、無念でなりません。

すべての住民が夢と希望にあふれ、安全安心、元気に  
暮らせるまちづくりに全力を注いでこられた生前のご功  
績に敬意を表し、和東町議会としても、町政  
発展のため全力を尽くすことをお誓いし、こ  
こに謹んでご冥福をお祈りいたします。

和東町議会議長 吉田 哲也



### 活性化対策費に410万円

グラウンド及びびテニスコートの照明用  
コインスイッチ更新など運動公園管理事  
業費250万円、「グリーンティ和東」2階  
のエアコンの更新等施設改修及び「和東  
の郷」前ライン引きなど活性化対策事業  
費160万円。

令和5年度補正予算では、一般会計で  
8480万円、特別会計で2125万円  
が追加され、主に一般会計補正内容につ  
いて審議が行われました。

### 観光費に6530万円

マウンテンバイクランド活用促進事業  
の委託料30万円、石寺景観前駐車場整備  
事業6500万円の内、工事施工監理業  
務委託料500万円、工事請負費  
6000万円、普通自動車25台、軽自  
動車2台、マイクروبス2台分の駐車場  
を整備し、有事の際の避難スペースやコ  
ミュニティ広場としても活用する。

# 補正予算関連 主な質疑

**問** マイナンバートラブルの町での状況、今後の点検の方向は。

**答** 確認作業を行ったが、今のところ問題はない。

**問** 保険証廃止中止の要請をすべきでは。

**答** 要望は大事。やるべきときにはやりたい。

**問** 石寺の駐車場工事やオーブンの段取りは。

**答** 8月から来年3月まで第一工期に、来年6月以降を

第二工期、再来年1月にオーブンプン予定。

**問** 工事中の駐車場対応は。

**答** グリントイ和東や公共交通利用を啓発したい。

**問** 工事中の対応を工事場所と区別した駐車場確保など実効性のあるものに。

**答** 工事現場内での確保、別の場所での確保の両面で調整したい。

**問** 石寺景観前に至るS字カーブ等の箇所での路面標示

も含めた安全対策を。

**答** 道路管理者と協議し対応したい。



路面標示等安全対策を

**問** 駐車場にバス2台分のスペースと聞いているが。

**答** マイクロバス2台分を予定している。

**問** 駐車料金は徴収するのか。

**答** 管理を委託する地域団体と協議したい。

**問** 補正予算に物価高騰対策が反映していないのは。

**答** 5月臨時議会で対応。

**問** 水道基本料金免除を実施しない理由は。

**答** 水道単独の減免でなく物価高騰対策として対応した。

**問** 燃料券を水道料金に使用できないか。

**答** 時間をいただき何らかの検討はしたい。

**問** 水曜の午後が子ども利用でWazCarが利用できないとの声があるが。

**答** スクールバスの導入も視野に対応したい。

**問** WazCarはなぜ登録が必要なのか。

**答** 本格運行に向けての検証のために必要。



Waz-Car利用には登録が必要

**問** 固定資産税の超過税率は「28年水害」復興の目的税か。

**答** 目的税ではない。

**問** 一日終了すべきでは。

**答** 終了もできるが今ではない。

## 新しい農業委員会委員14名に同意しました

岡田 勝 氏 (別所) 池尻 悟市 氏 (杣田)  
 柚木 雅公 氏 (湯船) 辻 勝輝 氏 (釜塚)  
 和田 嘉昭 氏 (別所) 喜多 章浩 氏 (南)  
 北川 誠 氏 (門前) 稲塚 欽也 氏 (石寺)  
 渡邊 光章 氏 (白栖) 山本 泰司 氏 (園)  
 濟藤 正広 氏 (別所) 田中 徹 氏 (湯船)  
 谷本 昌隆 氏 (下島) 西川 菜央 氏 (撰原)



## 意見書の提案と採決結果

6月定例会に次のとおり意見書が提出されました。

### ①保険証廃止に反対し中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 3人

反対者 5人

否決

### ②少子化対策の抜本的強化、充実を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 2人

反対者 6人

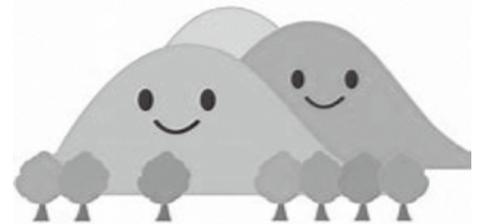
否決



## 税条例を改正

・令和6年度から、個人住民税の均等割に併せて森林環境税が徴収されます。全体の税額は変わりません。

・特定小型原動機付自転車（一定の要件を満たす電動キックボード等）の車両区分が創設されます。



## 各議員の賛否

令和5年第2回定例会(6月)に提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			村山一彦	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	岡田泰正	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
可決	本	令和5年度和東町一般会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	×	○	○	○	欠	-
否決	本	保険証廃止に反対し中止を求める意見書	×	○	×	×	○	×	×	○	欠	-
否決	本	少子化対策の抜本的強化、充実を求める意見書	×	○	×	×	○	×	×	×	欠	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない 欠は欠席。  
 吉田哲也議長は本議会の採決に加わらない。

# 一般質問

# 町政を問う！ 提案する！

6月15日、16日に行った一般質問には、6人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたずねました。各議員の質問項目を紹介します。

## ①高山豊彦議員（6ページ）

1. (仮称) 犬打峠トンネル開通を見据えたまちづくりを問う
2. 高齢者のごみ収集支援の在り方を問う

## ④山本達也議員（9ページ）

1. 和東町の町外への重要なアピールポイントは
2. アピールポイントを活かすための足下の課題解決は

## ②村山一彦議員（7ページ）

1. シルバー人材センター
2. 川の駅構想
3. 新しい町づくり

## ⑤岡本正意議員（10ページ）

1. 物価高騰対策の強化を
2. 「保険証廃止」への認識と対応は
3. 「Waz Car」の運行改善を
4. 河川、生活道路の環境整備を

## ③井上武津男議員（8ページ）

1. 地方創生での連合の役割
2. 「茶源郷和東」を世界に広げるために
3. インバウンドの受け入れは

## ⑥小西啓議員（11ページ）

1. 固定資産税と水道使用料金について

**一般質問**は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





高山 豊彦 議員

# (仮称) 犬打峠トンネル開通を見据えたまちづくりを！

## 町長

好機を逃すことなく、第5次総合計画の様々な施策に取り組んでいく。

**問** 府道5号線の整備計画は。

**答** 町長

道路交通網を充実させるため、引き続き着実な整備を京都府に要望する。

**答** 建設事業課長

拡幅改良工事や法面の樹木の伐採など維持管理も要望していく。

**問** トンネル開通により、大型車両の増加も予想されている。住民や流入車両が安全に走行できるように道路環境整備を府に強く要望したい。

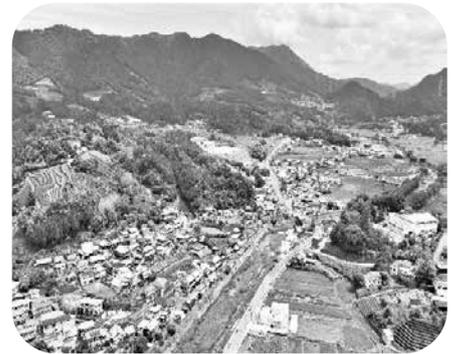
**答** 町長

広域で車の流通がよくなり、南部地域の経済の観点からも非常に重要。引き続き事情を訴えていく。

**問** まちづくりを進める上で農業振興地域の再検討が必要では。

**答** 農村振興課長

一定の規制を定め緩和措置を講じることも必要。計画的な地域指定の変更なども視野に入れ、将来像を描き取り組む課題である。



況は。

**答** 地域力推進課長

令和5年6月10日現在これまでの空き家登録件数は29件で、そのうち成約成立21件、残り8件が登録空き家となっており、移住希望者の総登録数は101件で、令和4年22件、令和5年8件となっている。

**問** 空家の持ち主の相談15件の内、登録7件となっているがその理由は。

**答** 地域力推進課長

将来的に空き家になるとの相談や、基準に該当しない場合もある。

**問** 国や府、民間の協力も得ながら、多くの移住希望者を受け入れられる体制づくりを、早急に進める取り組みを。

**答** 町長

活性化センターに委託している空家の相談やマッチングもさらに充実させ、理解をいただく努力をするとともに、一般住宅についても町営や民間、PFI方式を含め、本町に合った方向を検討していきたい。

高齢者のごみ収集の在り方を問う

**問** 木津川市では「ふれあい収集制度」による支援があるが、本町での対応は。

**答** 町長

急速な高齢化への対応は喫緊の課題でもあり、現行の施策など検討を重ねなければならぬ。

**答** 農村振興課長

社会福祉協議会と連携し、ゴミ収集受託業者がゴミ収集時に高齢者の見守りを行っている。

**答** 福祉課長

社会福祉協議会には、軽度生活援助サービス事業を委託し、この事業を利用・活用いただいている。

**問** 総務省の「高齢者等世帯に対するごみ出し支援」を活用し、古紙や粗大ごみを含め戸別収集の検討を。

**答** 農村振興課長

古紙回収は団体等の運営費に充てている部分もあり個々の団体との相談や、関係課と協議しながら検討・対応したい。



# 最先端の子育て支援策を行っているのに アピールができていない。

村山 一彦 議員

## 町長

### 広報は非常に大事な問題であり さらに努力していきたい。

**問** 和東町の子育て支援は全国的に最先端を行っていると考えられる。給食費、修学旅行費用も無料、医療費は18歳まで無料。しかしアピールが全然できていない。

**答** 町長

広報は非常に大事な問題であり、さらに努力して行きたい。

#### シルバー人材センター

**問** 以前からシルバー人材センター設立については、東部未来づくりセンターで検討していくと聞いているが、どのような形態を考えているのか。

**答** 町長

東部三町村で考えてきたが難しい点も多く、和東町個別のやり方で進めていきたい。

**問** 今アンケートを取りまとめていると聞か、何のアンケートか。

**答** 町長

事業者向け、官公庁向けのアンケートで、事業所にどのようなニーズがあり、どれだけの業務量があるのか。

か。又役場がどれだけの役務提供ができるのか、こういったことを量るため。

**問** 草刈り等住民ニーズは十分にある。ニーズを汲み上げるのは行政の仕事では。

**答** 町長

アンケートでは、草刈りなどの農作業を中心にニーズが十分あるので、そこへ焦点を当てて準備を進めていきたい。

#### 川の駅構想

**問** 木屋区の河川敷における、川の駅構想。護岸工事の進捗状況は。

**答** 建設事業課長

工事が開始された令和4年度が10%、今年度においても10%程度の工事の予定。

**問** 上面の土地は和東町が活用すると聞いているが構想はできているのか。

**答** 建設事業課長

河川空間を生かした憩いの場の提供を目指し計画を進める予定。工事の進捗を鑑みつつ、地元や関係団体との協議を踏まえ検討を進

めて行きたい。

**問** 工事が遅れているが、完成時期はいつ頃か。

**答** 建設事業課長

先日確認したところ、令和10年度の予定。

#### 新しい町づくり

**問** トンネルが開通すれば町は大きく変貌すると期待するが、人口減の対策として住宅対策を打ち出すのか、雇用対策として企業誘致を積極的に行うとか、方向性を出さないのか。

**答** 町長

木津川右岸、宇治市から京都市と一体化した地域づくりを進めて行きたい。和東町は、住みやすい・子育て・元気に暮らせる、そういう農村空間をアピールすることが大事と思っている。

**問** 企業進出の問合わせはあるのか。

**答** 町長

具体的にはないが、非常に関心を持っていただいているのは増えてきている。

**問** 企業誘致に際し、法人税、固定資産税等の減免措置は考えているのか。

**答** 町長

和東町はいち早く牽引事業に取り組んでいる。その中に減免措置を講じている。

**問** 木屋峠の改良、これがなされれば和東町に南北の大動脈ができ、トンネル効果も大きくなる。国、府に要望を出しているのか。

**答** 町長

木屋地内から柚田地内の1.5車線化による道路拡幅及び勾配修正改良事業を要望している。



拡幅改良が望まれる木屋峠

## 地方創生での連合の役割を問う

井上 武津男 議員



町長

広範な事務で意義があり、  
一体的に取り組める事に意味がある

**問** 和東町において、3町村連合の意義・意味・今後の方向性は。

**答** 町長

広報紙の発行、保健福祉協議会組織の統合、一般廃棄物の処理等、広範な事務において意義がある。さらに連携して一体的に事務効率化に取り組める事に意味がある。将来にわたって持続可能な体制づくりを進めるため共同化されてない事務を広域で処理できるよう進めたい。



相楽東部広域連合の方向性は

**問** 現在3町村連合が成功しているか。

**答** 町長

順調に進捗してきたのではないかと認識している。

**問** 他府県から和東へ連合の視察をされた町村はあるか。

**答** 地方創生担当課長

27団体の視察を受け入れた。

**「茶源郷和東」を世界に広げるために**

**問** 産地証明はどの様になされているか。「出せるか」「出せないか」。

**答** 農村振興課長

地域商標登録は有効、個人生産者表示をなされる事に取り組むことが大切である。

**問** 「イスラム社会」への進出で「※1ハラール認証」取得は。

**答** 農村振興課長

取り扱いくく、認証を取りに行くというのは時期尚早である。

**インバウンドの受け入れは**

**問** コロナ後のインバウンドにおいて、京都府は市外観光を奨励されているが、和東への方策は。

**答** 町長

観光は極めて裾野の広い産業であり、大きな経済波及効果を持つ。和東においても、観光庁の※2DMOに「お茶の京都」DMOが登録され、お茶の地域資源の観光コンテンツ・文化と産業の両面での地域づくりを推進し、世界有数の観光ブランドとして確立する取組を実施し、又教育旅行、農村民泊等の受入れ促進を図っていききたい。

**問** インバウンド客の一番の目的「食」に対して「おもてなし」の観点から、不足している食堂の解消は。

**答** 地域力推進課長

飲食店や農家民宿の方を商工会の協力で7店舗で、お茶の料理メニューの開発・提供、さらに茶源郷ランチマップのパンフレットを作成し、来訪者に提供している。予約制ではある

が、農家民宿での、こだわりの食事、和東荘での和東御膳等のメニューもある。又空き家店舗や、空き家倉庫を利用できるような企業誘致している。

**問** 将来において、茶工場の見学観光の見通しは。

**答** 地域力推進課長

令和2年度まで茶工場見学を実施していたが、コロナの影響で現在は、受け入れしていない。

※1 「ハラール」は、「許されている」という意味のアラビア語。ハラール認証は、ハラール認証機関がハラール性を保証する制度。認証機関は世界に300以上あり世界的な統一基準がない。

※2 観光地域づくり法人。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔。



# 和束の素晴らしいアピールポイントを

山本 達也 議員

# 活かすための足下の課題解決を！

## 農村空間から得られる元気・魅力・緑泉を アピールし、交流人口を増やし子育て支援を充実。

### 町長

**問** 和束の素晴らしいアピールポイントは、人の繋がり、お茶という主要産業、アクセスの良い立地。これ以外のアピールポイントは何か。

**答** 町長 「茶源郷」が表す歴史・文化・自然の豊かさがアピールポイント。

**問** 人口減少や流出の問題における現在実行中の対策の目標と達成時期。

**答** 町長 令和4年度の転入／出の比率は、77人／94人。令和7年を目標時期として、転入転出の社会増減で現36人の実数を半減の18人に、出生数13人を15人にする目標を2019年度に定めている。

**問** 役場の町外から通う職員の方に、どうあれば和束に住み続けられたのか、アンケート調査を願いたい。

**答** 町長 子育てに適した自然環境、子育て支援・補助は充実している。関係人口、交流人口を大切にし、第5次総合計画の通り住民と協働し地

域作りをしていく。

**問** 町外へアピールができていない。ホームページを改修し、最大3クリックで探す事ができるように。

**答** 地域力推進課長 見たいものに簡単にたどり着けないことは認識しているので改善していきたい。

**問** 空き家増加での現在実行中の対策及び現在の空き家の軒数と目標の減少軒数とその達成時期は。

**答** 地域力推進課長 移住対策は空き家バンク、空き家改修補助金の制度、空き家流動化促進事業補助金制度。世帯間支援の促進で支援補助金制度がある。空き家軒数は令和4年度末で86軒。空き家バンク登録数は令和3年に8年度目標で20軒だが現在29軒が登録。令和8年度までに86軒の空き家を有効活用し移住者の増加を目標に。

**問** 耕作放棄地の減少に向けた取組で農地の再利用や別用地として具体的な策はあるのか。

**答** 農村振興課長 担い手不足が原因。今以

上に茶農家や新規就農、移住される方との議論が一番。

**問** 援農者不足問題では援農者が来たい、働きたいというような具体的な取り組みを町として実行しているか。

**答** 農村振興課長 雇用促進協議会が支援をし「ワヅカナジカン」を立ち上げたが業として行う場合、抵触する法律クリアが必須。労務交換で互いの農家の作業様態を熟知し毎年同じ世帯同士での雇用確保が一番長続きするのではないか。

**問** 援農人材センターを作つて人材募集、空き家を活用した宿泊施設提供、茶仕事の基礎研修を実施などで和束に農業を通じて関わる方が増えると農家の後継ぎ問題解消や移住定住のきっかけ作りで空き家の減少や人口減少の歯止めになるのでは。

**答** 農村振興課長 基本的に派遣業に当たるので不可能。人材センターを作ると事故が起こった時の補償、労務や宿泊所の衛生面の問題などもあり、現

状は農家さん同士でできているので一定の情報提供で止まっている。

**問** WazCar導入以後の町民の毎月の利用回数及び利用目的別に行き先、また観光客の利用におけるルートや行き先の多い場所、WazCar導入以後の奈良交通路線バスの乗車実数は。

**答** 地方創生担当課長 令和4年9月～12月は月あたり20人から30人。令和5年1月～3月は乗降ポイント増、運行日を日祝にも拡大で1・2月の100名から3月は140名と増加。4月は240名、5月は340名。利用目的は通院・通所、近所のお出かけ、買い物が多い。乗降ポイントでは運動公園前、役場・診療所前、路線バス乗り継ぎが多い。スクール便も含まれると小学校前、B&G前が多数。観光目的では湯船地区のカフェ、石寺の茶畑景観地の2箇所。導入以降の奈良交通路線バスのICカードの利用件数は昨年10月～今年3月で前年対比103%の微増。



# 物価高騰から暮らしを守る対策強化、 水道料金の軽減・見直しを

岡本 正意 議員

## 町長

物価高騰の動向を見ながら  
対策を要望していきたい。

**問** 6月議会での対策強化の内容は。

**答** 町長 今回の補正予算では新たな予算計上はない。

**問** 水道基本料金免除の再実施を。

**答** 町長 より効果的な支援へ他事業で進める。

**問** なぜ今年度は免除ができないのか。

**答** 町長 様々なものが高騰し水道だけの状況ではない。

**問** 基本水量を元に戻し負担軽減を。

**答** 町長 安定的な経営を継続するためには難しい。

**問** 保険証廃止への認識と対応は

**答** 町長 保険者として危険は感じないか。廃止中止を求めらるべき。

**問** 来秋の施行日までに問題解消、移行できる。

**問** 廃止した場合の課題は。

**答** 町長 制度移行時には様々な取り扱い変更が生じるもの。

**問** 町の判断で資格確認書の一律交付を。

**答** 町長 取り扱いの詳細がわかれば周知徹底する。

**問** 法律でも町の職権を認めている。町の判断でやってほしい。

**答** 町長 きちつとうたっているならその内容で進めていく。

**問** 「WazCar」の運行改善を

**答** 町長 実証運行の期限、本運行への基準は。

**問** 来年3月末まで実施予定。利便性向上や路線バスの利用状況を検証する。

**答** 町長 湯船地区での再説明、意見聴取を。

**問** 地方創生担当課長の要請で懇談会を開催

している。

**問** 「ドアツードア」の導入、停留所の改善を。

**答** 町長 地方創生担当課長 狭い道路など全地域回るのが大変困難。より良い乗降場所を探りたい。

**問** 道路環境が悪いから困難は発想が逆だ。「ドアツードア」が必要だ。

**答** 町長 地方創生担当課長 選択肢ではあり検討する。

**問** 料金の引き下げを。

**答** 町長 地方創生担当課長 現時点では納得感のある設定と考える。

**問** 町内一律の料金に。

**答** 町長 地方創生担当課長 バスより安くなるとバス利用者が減ることも考え設定している。

**問** 河川、生活道路の環境整備を

**答** 町長 和東川支流内の雑草刈り、浚渫の実施を。

**問** 建設事業課長の府管理河川は要望し計画

的に実施していきたい。

**問** 南川、門前川、杣田川等の雑草がひどいが今年の改善予定は。

**答** 町長 建設事業課長 詳細はまだわからない。

**問** 町道白栖撰原線の舗装改修、雑木等の整備を。

**答** 町長 建設事業課長 路面状況や緊急車両の通行状況など検討し進めたい。



早期改修が望まれる町道白栖撰原線



# 固定資産税の超過税率と 水道使用料金について

小西 啓 議員

## 固定資産税について

**問** 固定資産税の標準税率は100分の14ですが、和東町はいつから本年度まで1.5なのですか。

**答** 町長 超過税率は南山城水害の復興財源として昭和33年度から納めていただいており、昭和41年度から現在の1.5%となっております。

**問** 昭和28年の水害のことを引つ張ってるんですか。まだどこかなおさなければならぬところを引きずってるんですか。そして、111名亡くなられた慰霊祭も止められたのでしよう。やめたのでしたら超過税率もやめたらいいんじゃないですか。

**答** 町長 昭和28年の南山城水害で111名の方が亡くなり、集中豪雨という言葉はその時に発生した言葉です。その時、超過税率がスタートしました。その後、ずっと財源が厳しい町でありました。

**問** 超過税率100分の15と標準税率100分の14との差0.1は、年間どれぐらいの増収になりますか。

## 住民課長

**答** 超過税率0.1%分の年間増収額は、令和4年度収納実績は、1253万4148円で令和5年度予算は、1159万7000円を見込んでいます。

**問** プラス0.1%の1200万円で住民サービスをしていけると言われますが、どれだけできますか。

**答** 町長 1200万円という話で、府と国へ話をさせていただくときに、こんなところまで住民に厳しく協力してもらっていませんから、何とか事業を入れてください、何とか頼みますというお願いをしてきて、この超過税率はフルに使わせてもらいました。

**問** 超過税率を標準税率にプラス0.1%の1200万円余りのお金を町民の方々から吸い上げて住民サービスに使用しております。そんなの通りませんよ。固定資産税の超過税率を標準並みにほかの町村並みに戻すのが私は当たり前だと思います。他の町村並みに14%に直したらどうですか。町長15%を14%にして1200万円余り住民負担を軽減し

てください。

**答** 町長 この1.5というのはこの事業が一定の切りがついたときか、一定判断されたときには落としてもいいと思います。質問がありましたように、私も落とす努力は今まで3回もしてきましたので、これも引き続き落とせる努力をしていきたいと思えます。

## 水道使用料金について

**問** 4月、5月分の水道予定料金お知らせを住民多くの方々がみられまして、水道使用料金の大幅値上げに驚いておられます。町長は、住民の皆さんの声を聴いておられますか。

**答** 町長 水道料の見直しは、安心安全な水道水の供給に係る安定的な簡易水道事業の経営を維持するために必要であったことを住民の皆様の理解を得られるよう丁寧な説明に努めてまいりますので、ご理解よろしくお願いたします。

また、水道使用料の見直しにかかわらず、事業を進める際にはすべての住民の声を聴くことは、かないませんけれども、できる限り住民の声を

聴き、施策に反映できるように今後も務めてまいります。

## 建設事業課長

**答** 水道使用料の収入額につきましては、令和4年7月分から令和5年3月分までにおける基本料金の減収を行ってから2か月程度しか経過しておらず、また新型コロナウイルスによる行動制限緩和に係る影響、農繁期に係る茶工場等での水道使用料の増加などを勘案する必要があることから、現時点ではつかみきれない部分があるところが現状でございます。使用料収入については継続的に動向を注視させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

**問** 町長、水道使用料を直接町長が値上げされて、町民の方からそういうような今回のご意見は聞かれましたか。

**答** 町長 直接、私たちを見ていただいているのかもしれないけれども、批判的な意見とか、そういうことは聞いております。

**総務厚生常任委員会**

**令和4年度決算は一般会計**

**特別会計は黒字**

畑井上・山本  
小西・村山

6月7日令和4年度の主要事業の成果などについて事務調査を行った。

**総務課**

○3月19日に開かれた茶源郷まつりは約4000人の来場者があり、商工会など16店舗の出店と、作品展示が8テントあった。

○ふるさと応援寄付金は、280件、302万6000円の寄付があった。  
○路線バス運行維持補助金は、2959万円で5年4月から加茂駅～原山間の運行に変更、奈良交通バス利用促進と交通空白地域の解消を図る予約型交通の実証実験では、166人の利用登録があり、延べ343人が利用。  
○消防団員は、条約定数2

76人に対し202人で、今後の地域防災力強化を図る必要がある、報酬の見直しが行われた。

**税住民課**

○令和4年度の町税は、3億8220万円で前年度比6.77%の増となった。

○新型コロナウイルス感染症対策として実施された、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業では、1世帯当たり10万円、632世帯に給付。

**福祉課**

○低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業では、1人当たり5万円、35人に給付。

○子育て世帯生活支援特別給付金事業では、1人当たり5万円、350人に給付。

○出産子育て応援給付事業では、出産応援給付金が45万円、子育て支援給付金35万円、計80万円を執行、令和4年度出生数は6人であった。

**国保診療所**

○令和4年6月から午後診療を開始、発熱外来等の抗原検査開始に伴い、患者数6038人、診療収入1088万円の増となった。

その他、介護保険事業、和東保育園、人権ふれあいセンター等事業の報告があった。

**委員からの意見や質問**

**問** ふるさと応援給付金の受け入れ態勢の充実を。

**答** 大きなポイントとして、具体的な目的をもって充てる事、魅力ある返礼品、組織の充実の3点を示している。

**問** 特定健診者数の実績が358人とあるが、男女の比率は。

**答** 男女の比率はまとめていない。

**問** 町税の不納欠損額10

7万9047円の内訳は。  
**答** 町民税12件14万9868円、固定資産税37件21万8300円軽自動車税4件4万7600円、法人税85万79円(同一法人)国民健康保険税23件37万1000円である。

**問** 法人税が大半を占めている、毎年これくらいか。  
**答** 令和3年度140万円、令和2年度約130万円程度。  
**問** 昨今想定外の気象現象で大きな災害になる、本町で防災避難訓練を今までされたことはあるのか。  
**答** 約7年前に和東小学校で町民と合同で避難訓練を行った。

一部事務組合議会報告

**相楽広域行政組合議会**

5月29日、第2回臨時会が開催され、議長に木津川市の長岡一夫議員、副議長に精華町の三原和久議員を選出し、監査委員の選任を全会一致で同意した。

**相楽中部消防組合議会**

5月25日、第1回臨時会が開催され、議長に木津川市の長岡一夫議員、副議長に和東町の吉田哲也議員を選出。また議会運営委員の選任、賞じゅつ金等審査委員、表彰審査委員を選出した。議会選出の監査委員の選任では南山城村の久保憲司議員を選任した。

令和4年度一般会計補正予算(専決)は賛成者多数で承認し、火災予防条例の一部改正、新庁舎造成・斜面安定化対策工事請負契約の締結も賛成者多数で可決した。

産業常任委員会

総合保健福祉施設の  
実施設計が完成

岡本  
高山・岡田(泰)  
岡田(勇)・吉田

6月6日、令和4年度事業実績を審査。地域力推進課から町PR動画の紹介、石寺地区駐車場整備の説明、総合施設整備課から実施設計の概要説明があった。活性化センターで取り組まれている「生ごみ完熟堆肥化事業」について実地調査を行った。

委員からの意見や質問

○令和4年度事業実績について

問 地域おこし協力隊員や援農者への防災、避難等の情報提供は。

答 周知徹底をはかる。

問 祝橋架替え工事での地元関係者への事前説明を。

答 直ちに説明を行いたい。

問 外国人観光客への道案内対応を。

答 SNS活用や英語版パンフ発行を検討する。

問 移住・定住促進の「特区」の全町への拡大は。

答 中・西和東でも理解を得るべく説明している。

問 高齢者等のゴミ出し負担の軽減策を。

答 相談があれば考えたい。

問 水道基本料金の免除実施は。

答 今回は見送られた。

○総合保健福祉施設の実

施設設計について

問 場所選定時に必要としていた盛土が不要となった理由、土砂災害への対策は。

答 「千年に一度」の想定を踏まえた設計で、防水シヤッター等で対応。府が土砂災害対策を予定している。

問 避難所機能の想定は。

答 福祉避難所を計画。ネット環境、災害時の

トイレ確保は。

答 wi-fiの整備、マンホールトイレ的な対応は可能。

○石寺地区での駐車場整備について

問 駐車スペースの予定は。

答 優先枠2台、一般枠23台、マイクロバス枠2台。

問 工事費はどうか。

答 周辺整備やトイレ設置等も含め、約1億円になる。

問 周辺整備やトイレ設置等も含め、約1億円になる。

答 年間約10㎡の堆肥を生産



年間約10㎡の堆肥を生産

【生ごみ完熟堆肥化事業の実地調査】

グリーンティ和東で担当者から事業の説明を受けた。

現在は41軒の登録家庭が協力、年間で約10㎡の堆肥を生産。コンポスト学校開催

など担い手育成にも力を入れている。今後は、堆肥舎の新たな建設や担い手づくりの現場も見学した。

一部事務組合議会報告

山城病院組合議会

5月23日、第1回臨時会が開催され、議長に木津川市の高岡伸行議員が、副議長に笠置町の田中良三議員を選出し、留任の1名を除く議会運営委員5名が指名され、その中から委員長に木津川市の倉克伊議員、副委員長に和東町の井上武津男議員を選出した。

監査委員に西井正氏、議員選出の監査委員に木津川市の西山幸千子議員と南山城村の廣尾正男議員の選任に同意した。

また、介護老人保健施設やましろ使用料・手数料等徴収条例の改正は、物価高騰による食料料金の値上げに伴う食費の改正で、賛成多数で可決した。

相楽東部広域連合議会

6月1日、第1回臨時会が開催され、議長に笠置町の西昭夫議員、副議長に南山城村の久保憲司議員を選出した。

令和4年度一般会計補正予算(専決)を賛成多数で可決し、議員選出の監査委員に和東町の吉田哲也議員の選任に全員賛成で同意した。また、委員会の構成替えを行い、各常任委員会、議会運営委員会、副委員長を選出した。

など担い手育成にも力を入れている。今後は、堆肥舎の新たな建設や担い手づくりの現場も見学した。

まちの  
“元気”を  
訪ねて

# “里山の日本蜜蜂がらの贈り物”

## ～鍵谷 福成さん(白栖)～



**Q** いつから養蜂を始められたのですか？

**A** 平成11年から始めて今年で24年になります。

**Q** 養蜂を始められたきっかけは？

**A** 滋賀県大津市で親の代から養蜂をされていた人がやめるということで、覗きに行くと面白そうだったので、大津市でその人のものを2年程した後、こっちで始めたのがきっかけです。

**Q** 養蜂の方法と収蜜時期は？

**A** 野生の日本蜜蜂を集めて日本の古典的な養蜂で、杉の丸太をくりぬき自然の様子を表した巣箱を設けています。気象条件にもよるが、3月頃から巣箱に入り、里山の丘陵地で四季折々の花の開花時期に蜂が飛びまわって蜜を集めます。

西洋蜜蜂より体が小さく、一群の蜂の数は西洋蜜蜂の10分の1以下で、採蜜は年1回10月から11月頃に採るが、採蜜量も少ない幻の蜂蜜といわれています。

7月から10月頃に巣箱に入ることもあるので、その時はスズメバチが巣箱に入れないように網を張って守って1年間そのまま置いておきます。日本蜜蜂は巣箱になじまないと入らないので、巣箱は絶対に移動しない。

環境が変わると逃げてしまうので、逃がさないように世話を惜しむことなく、その蜂群の巣箱を保護し見守るといって、古代の蜂飼いを継承、踏襲しています。

**Q** どのようにして採蜜されますか？

**A** 白く覆われた蜜ぶたをていねいに剥がし、蜜が湧き出る蜂の巣をザルでくぐらせ、貯蜜部から満ち落ちる蜜を抽出します。

日本蜜蜂の蜜の成分はブドウ糖、果糖、オリゴ糖、各種ビタミン、ミネラル、アミノ酸などからなり、栄養価も高く美味、珍味として古代より重宝されていました。

**Q** 養蜂を続けていく上での課題は？また抱負を教えてください。

**A** 健康を維持し、続けられるところまで続けたい。広島の方が2つほど欲しいということと譲ったが、町内ではまだ来られていない。引き継いでくれる人があれば譲りたい。

### 編集後記

4月の町議選挙をうけ、初の定例会となった6月議会の閉会から1週間後、堀忠雄町長が出張先で交通事故に遭い亡くなったとの報に触れ、言葉を失いました。22年間、毎議会で交わし続けてきた論戦がこんな形で途切れるとは、本当に寂しく残念なりません。JRバスの撤退、平成の大合併の波、地方財政の逼迫、教育委員会の統廃合、急激な少子高齢化と人口減少、そしてコロナ禍、水道料金問題、深刻な物価高騰：堀町政の歩みは、相次ぐ激動の中での難しい選択や対応の連続でもありました。それだけに時には厳しい論戦となり、町長の姿勢にもどかしさを感じる場面もあった反面、どんな意見にも耳を傾け、良いと思つたこと、出来ることは取入れる柔らかさも備えた方でした。何よりも、農村の良さや、和束茶の素晴らしさを、時間を忘れて熱弁されていた姿に、22年間を支えたまちづくりへの情熱を感じています。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。(岡本正意)

### 広報編集委員会

- 委員長 高山 豊彦
- 副委員長 岡本 正意
- 委員 山本 達也
- 委員 畑 武志
- 委員 小西 啓

第3回定例会は、9月初旬開催予定。